佐川町立高北国民健康保険病院

令和５年度 2023 年度 高北病院健診のご案内

受付開始日：令和５年 ３月９日（木）午前８時 30 分から

健診実施期間：令和５年 ４月 13 日（木）～令和６年３月末日まで

健　診　日：毎週火曜日、木曜日（時間は以下の通り）

予約受付時間：来院受付…平日　午前８時 30 分～午後５時
電話受付…平日　午後２時～午後５時
ホームページからも随時受け付けております。

＊新型コロナウイルス感染症の発生状況により、日程が変更される場合があります。

人間ドック

人間ドックは、誰でも受けることができる健診です。

健診日・・・・・木曜日　午前

基本検査に追加できるオプション検査は 14 種類あり、必要な検査を追加していただくことで、より満足いただける内容になります。
また、特定健診、後期高齢者健診、若者健診が対象の方は、人間ドックと一緒に受けていただくと、医療保険（国保や社保など）から、補助を受けることができますので自己負担額がお安くなります。

特定健診

対象者は、40 歳から 74 歳の方です。

後期高齢者健診

対象者は、75 歳以上の方です。

若者健診

対象者は、30 歳から 39 歳の佐川町国保に加入されている方です。

健診日・・・・・火曜日（午前）　木曜日（午前・午後）

生活習慣病(高血圧症、糖尿病、脂質異常症など)の予防を目的とした健診です。
当院内科受診中の方は主治医にご相談ください。受診時に合わせて受けることも可能です。

がん検診

がん検診は、誰でも受けることができる検診です。

検診日・・・・・火曜日（午前）　木曜日（午前・午後）

がん検診は、胃がん、胃がんリスク、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、がんリスク検査があります。

＊当院では上記のほかに、一般健診や事業者健診を実施しています。お気軽にお問合わせください。

お問合せ先　☎（０８８９）２２－１１６６　健診係

特定・後期高齢者・若者健診

生活習慣病といわれる、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの予防を目的とした健診です。
特定健診は 40～74 歳までの方、後期高齢者健診は 75 歳以上の方です。
若者健診は 30～39 歳で佐川町国保に加入されている方が対象です。
対象の方には、加入している医療保険者から受診券が送られますので、健診を受ける際は必ず「受診券」と「問診票」を持参してください。

健診料金

自己負担額は医療保険の種類によって違います。受診券に自己負担額が記載されていますのでご確認ください。
また、年度の途中で保険証の変更があった場合、新しい保険者から新たに受診券を発行してもらうようになります。

健診内容

血液検査	AST・ALT・γGT 中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール ヘモグロビン A1c
尿検査	尿糖・尿たん白
身体測定その他	身長・体重・腹囲・血圧
若者健診追加検査	体組成検査（筋肉量や脂肪量を測定します。）

がん検診

がん検診　検査内容と料金

がん検診では、検査以外に医師の問診があります。

（税込）

胃がん検診	胃内視鏡検査(B 型 C 型肝炎ウイルス検査等も含みます。)	7,600 円
胃がんリスク検診 （ABC検診）	血液から、ヘリコバクターピロリ抗体とペプシノゲンを測定し、この 2 つの結果からA群～D群に分類されます。A群は健康な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。B→C→Dとなるに従って胃がんの危険性が高くなると判断します。	4,100 円
がんリスク検査(AICS) （糖尿病・脳心疾患・認知機能低下リスクも含みます） ※対象年齢があります。	血液で調べます。 現時点のがんである可能性を予測する検査です。 胃、肺、大腸、膵臓と男性は前立腺の５項目、女性は乳腺、子宮・卵巣の6項目を調べます。 がん・糖尿病・脳心疾患・認知機能低下リスク検査（AIRS）として行いますので糖尿病、脳心疾患、認知機能低下の可能性のリスクについても判定が出ます。	22,000 円
肺がん検診	胸部 X 線検査	4,000 円
大腸がん検診	便潜血反応検査（2 日法）	3,000 円
前立腺がん検診	血液 PSA 検査	3,000 円
子宮がん検診	子宮頚部細胞診＋子宮超音波＋婦人科診察	3,800 円

人間ドック

人間ドック　基本検査内容

血液検査	AST、ALT、γGT、LDH、ALP、ｺﾘﾝｴｽﾃﾗｰｾﾞ 総ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ、中性脂肪、HDL ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ、LDL ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ たん白、ｱﾙﾌﾞﾐﾝ、総ﾋﾞﾘﾙﾋﾞﾝ、ｱﾐﾗｰｾﾞ、尿素窒素、ｸﾚｱﾁﾆﾝ、尿酸 赤血球数、白血球数、白血球分類、ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ、ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ 血小板数、他
尿検査	尿糖、尿たん白、尿潜血、推定 1 日食塩摂取量　他
身体測定	身長、体重、腹囲、視力
呼吸器系(肺がん検診)	胸部 X 線検査
循環器系	血圧、安静時心電図
消化器系(大腸がん検診)	便潜血反応検査　(2 日法)
糖尿病検査	血糖、ヘモグロビン A1c
超音波検査	腹部超音波検査
眼底検査	眼底カメラ撮影(両眼)
体組成検査	体組成測定
握力検査	握力測定

胃がん検診は基本検査に入っていませんので、希望される方はオプション検査でお申し込みください。

人間ドック　料金

① 人間ドックのみ　・・・ 17,000 円(税込)
② 人間ドック＋特定健診　・・・ 12,000 円＋特定健診自己負担額(税込)
③ 人間ドック＋後期高齢または若者健診　・・・ 12,000 円(税込)

人間ドック　オプション検査内容

	項　目	金額(税込)		項　目	金額(税込)
1	胃内視鏡(胃がん検診) B 型 C 型肝炎ウイルス検査等も含みます。 鼻から検査することもできますので、ご希望の方はお申し出ください。	7,200 円	9	がん・糖尿病・脳心疾患・認知機能低下リスク検査(AIRS) 血液で胃、肺、大腸、膵臓、前立腺、乳腺、子宮・卵巣のがんリスクと脳卒中・心筋梗塞発症リスク、糖尿病発症リスク、認知機能低下の可能性のリスクを調べます。 ＊対象年齢があります。下記の「項目のご紹介」の欄をご参照ください	21,000 円
2	ABC 検診(胃がんリスク検診) ①ヘリコバターピロリ抗体 ②ペプシノゲン 血液で胃がんの発生リスクを調べます。	3,000 円			
3	胸部 CT 肺や気管、気管支などの病変を見つけるための検査です。	7,400 円			
4	肺活量検査(肺年齢) 肺活量から肺の状態を調べます。 喫煙歴のある方におすすめです。	2,000 円	10	頚動脈エコー 頚動脈の詰まりがないか超音波装置で調べます。	2,500 円
5	骨塩定量(骨粗しょう症検査) 骨塩定量(骨密度)を調べます。	1,500 円	11	血圧脈波(血管年齢) 両腕、両足首の血圧を測り、血管の状態を血管年齢で表します。	1,800 円
6	聴力検査 聴力低下は認知症リスクの一つと言われています。	500 円	12	超悪玉コレステロール 悪玉コレステロールの中でも超悪玉が多いと動脈硬化を起こしやすいと言われています。	4,000 円
7	子宮がん検診 子宮頚部細胞診、子宮超音波検査、婦人科診察	3,100 円	13	アディポネクチン 生活習慣病の指標になる検査です。	3,200 円
8	PSA(前立腺がん検診) 血液で前立腺の腫瘍マーカーを調べます。	1,900 円	14	糖尿病検査(75gOGTT) ブドウ糖を飲んで 1 時間後、2 時間後の血糖を測定し、かくれ糖尿病を見つけます。 ご希望の方は予めご相談ください。	2,300 円

項目のご紹介

体組成検査(基本検査)

脂肪量や筋肉量、水分量、またそれらの左右差や分布を測定します。

脂肪量と筋肉量は、部位別に分析しグラフで見ることができますので、プロポーションづくりや筋力トレーニングの結果を数値で確認することができます。また、特に生活習慣病との関連が強いとされる体幹部の脂肪なども一目瞭然です。

≪注意≫

ペースメーカーなど、医用電気機器を装着されている方は、測定できません。予めご了承ください。

推定 1 日食塩摂取量

(基本検査)

尿中のナトリウムとクレアチニンを測定して 1 日の食塩摂取量を算出します。

1 日の食塩摂取量は 8g以下が目標値ですが、高知県民の食塩摂取量は、男性 9.3g、女性 8.3g で、0.3g から 1.3g 取りすぎています。

食塩を取りすぎると、血圧が高くなり心臓や腎臓に負担がかかります。

(高知県減塩啓発リーフレットより)

1年に1度は人間ドックを受けて自分のカラダに注目してみましょう

人間ドックは、どうして受けた方が良いのでしょうか。身体は日々再生や修復を繰り返しながら生命を維持するために頑張っています。その頑張りが効かなくなったときに初めて身体の不調として症状が出てきます。

しかし、私たちの身体は思っている以上に頑張り屋さんで、症状が現れたときには病状が進行していたりするケースもあります。 そこで、症状がないときこそ1年に1回人間ドックを受けて身体が悲鳴を上げていないか確認してみましょう。 当院の人間ドック基本検査には、一般的な血液などの検体検査や胸部 X 線検査、心電図、超音波検査などの他に、尿中のナトリウムから1日の塩分摂取量も測定しています。

また、筋肉量や脂肪量それらのバランスがわかる体組成検査、身体の筋力低下を反映するといわれる握力検査も取り入れています。

いつも健康に気を配っていらっしゃる方はもちろんですが、今まで健康で病院にかかったことがない方や生活習慣が良くないなと気にしている方、健診を受けると何か引っ掛かりそうだから嫌だなと思っている方、1年に1度、頑張っているご自身の身体に注目する日を作ってみてはどうでしょうか。